

かけはし



平成26年度学校だより
大府市立共和西小学校

26年12月3日号

校長の巻

今年も人権週間がやってきます。12月4日から10日までです。今年の重点目標は、「みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」です。

「思いやりの心」は目に見えません。でも、相手の気持ちを考えて、行動という形になったとき、思いやりの心は目に見えるようになります。どのお友達とも安定して仲良し、困っている人を見たとき、さりげなく「大丈夫？」と声を掛ける、苦手なことを頑張っている子に声援を送る、悲しい思いをしている子がいたら、そっと寄り添ってあげる、など。共和西小学校には、どの学年にも、ごく当たり前のこととして、そういうことができる子たちがたくさんいます。思いやりの心が、温かい家庭の中で生まれているということが、とてもよく伝わってきます。子どもから子どもへと、思いやりの心がつながる場面に出合う度に、愛情いっぱい育ててきた子たちなんだ、とご家庭への感謝の気持ちでいっぱいになります。

でも、人間は感情をもつ生き物です。その感情が、時には、やっかいな働きをすることがあります。「Aちゃんと仲良くなりたいたのに、Bちゃんがいるからなれない。AちゃんにBちゃんの悪口を言って、二人をけんかさせちゃおう。」などということが、学校内でも実際に起こっています。いつでも誰とでも仲良く、はもちろん望みたいことではありますが、そうはいかないときもあります。子どもたちは、衝突し合ったりけんかしたりしながら大きくなっていきます。そういうことが起こってしまったとき、誰かが、悲しい・つらい・苦しい思いをしてしまったとき、私たち大人は、友達との心地よい距離感のもち方や、あやまり方、人への思いやりの心のもち方などを、子どもたちに上手に教えてあげたいな、と思います。

人は人との結びつきなくしては生きていきません。子どもたちが、そのことに気付いて、人と人との結びつきを上手に築いていける心を育てていく、人への思いやりに溢れた心を育てていくのは、私たち大人の責任です。「ふわふわ言葉とちくちく言葉」という内容の授業、道徳の授業、ワイワイタイムなどの縦割り活動など、学校生活のあらゆる場面で、今後もいろいろな人々と豊かにつながっていける子どもたちを育てていきたいと思っています。

誰でもが思っていると思います。目指せ、「人権について、わざわざ考える週間がなくてもいい世界」。



シリーズ

先生の横顔

音楽専科の宮島富子先生にインタビューしてみました。

- ①今まで出会った方で「素敵だな」「尊敬してしまう」「あこがれの人」と思う方を教えてください。
- ②今いちばんやってみたいことは何ですか。
- ③自分のチャームポイントは何ですか。

- ①尊敬してしまう人は、両親です。あんなに朝から晩まで身を粉にして働いてきた両親のような真似はできません。脱帽。「金管指導の神様」と思っている人がいます。その人に憧れています。ずっと、あんな風な指導で、あんな音が出せたらいいなと、その人を目指して今もやっています。その人の名は……共長小学校にお勤めの酒井淳子先生です。
- ②日本中の「おいしい」と言われているスイーツを、もれなく食べ歩いてみたい。体重や健康に気をとられず、食べてみたいけど……。
- ③小さなことで幸せに感じられること。例えば、お布団を干して取り込むときなんて、いちばん幸せに思います。あきらめず、一生懸命やることです。とても不器用なので、一生懸命やらないと人並みになりません。(全然そんなことはありません、と陰の声。)でも、いつしか、それが常になってしまったかな。

おめでとう 受賞

FBC「花壇を描いた写生コンクール」

入選

2年 平敷美衣, 3年 安孫子真那

4年 岡田美乃里, 5年 森永玲南

6年 山口萌花

FBC「花と私の作文コンクール」

入選

2年 川勝仁瑚, 6年 竹田虎輝

10月8日号でお知らせした、「夢のくるま コンテスト 準グランプリ 5年 松邨香音さん」のプロによるデザインが届きましたので、ご紹介します。3学期にはモデルカーが届きます。



車の周囲についているものの中には、空気が入っていて、もし、人にぶつかってもけがをしないようになっています。

◆◆ 紙上作品展 ◆◆



4年
感想画
橋本紗羽
「共にたたかう」(本の題名:
舌長ばあさん)

3年 工作 ゴムの力でトコトコ



「ドラゴン1号」
山科春透

「ミィのプレゼント
配達」堀尾采加

授業がいちばん

子どもたち、何と言っても授業が勝負。子どもたちと先生の日常の授業風景をお伝えするコーナーです。

3年生ではじめて学習する社会。2学期も終盤になり、「社会」という教科に慣れてきた子どもたち。子どもたちの社会的な目、なかなか侮れません。

3年2組堀口学級では、「店ではたらく人々」を学習中。



わたしたちの家では、くらしに使う物を、どんな店で買うのか調べましょう。店のいいところなどをこれから見ていこうと思います。
よく行く店、どんなところがありますか。

「えくぼ。野菜や果物を買いました。」

野菜や果物以外のものを買ったよ、という人。

肉、パン、魚、牛乳、お菓子、ふりかけ、しょうゆ、ジュース、ポン酢、卵、ケチャップ、お米、豆腐、などがあがりました。

次々に手を挙げて答える子どもたち。

たくさん出てきました。今出てきたものの共通点、どんな種類のものですか。

「食べ物」という答えが返ります。次に他の店を聞きます。

ダイソー、アピタ、青木スーパー、コストコ、イオンなど、17種類が挙がりました。

先生は、黒板に店の種類を分けて書き、売っているものを隣に書いていきます。買ったものも食品、衣類、文房具、ペット関係のもの、トイレトペーパーなどの日用品など、およそ、暮らしに必要なものがほぼ出そろいました。子どもたちは、どこで何を買ったかまで、調べカードがなくても、よおく覚えていました。

次は、お店の特徴を調べ、なぜそのお店に行くのか考えるところまで進みます。



